

吹奏楽で全国へ 高校生が抱負



全国大会に向けた抱負を述べる、
下郷さん（左）と佐藤さん

深川西高吹奏楽局の局員で、妹背牛に住む高校生2人が10月27日、町役場を訪問し、滝本昇司町長らに全国大会に向けた抱負を述べました。

2人は、3年生の佐藤麻緒さんと2年生の下郷新菜さんで、ともにトランペットを担当。

「日本管楽合奏コンテスト全国大会」（11月3日、東京）が開かれるのを前に、2人は「いい演奏をして、支えてくれた人に恩返ししたいです」などと、意気込みを語りました。

カラオケで健康維持 自慢の歌声



カラオケの採点結果で盛り上がりを見せる会場

妹背牛町老人クラブ連合会は10月23日、町民会館でカラオケ大会を開き、ステージに立った男女15人が自慢ののどを響かせました。

カラオケを楽しんで健康の維持に役立ててもらおうと、今年で3回目。審査員を含めて約150人が集まった会場は終始、熱気に包まれました。

マイクを握った出場者たちは昭和のヒット曲を中心に自慢の歌声を披露。採点結果に会場は盛り上がりを見せました。

新そば・新米に舌鼓 収穫感謝祭



新そばを求めて、大勢の人たちでにぎわう会場

町内のそば打ち愛好者でつくる「手打ちそば倶楽部もせうし」は10月19日、わかち愛もせうしひろばで「令和7年 収穫感謝祭 新そば新米食べよう会」を開催しました。

会場では、打ちたての新そばや新米を握ったおにぎりを販売。秋の味覚を楽しもうと、大勢の人たちが長い列をつくり、風味豊かなそばに舌鼓を打ちました。

また、そば打ちの実演も来場者の人気を集めました。

園児が植えた野菜のピザで収穫祭



ピザを味わいながら、会話を弾ませる園児と農業者

認定こども園妹背牛保育所は11月4日、恒例の収穫祭を開き、年長児11人が自分たちで植えた野菜を使ったピザをおいしそうに味わいました。

この日は、畑作業に協力した株式会社「ファーマーズ・クラブ 雪月花」の農業者3人を収穫祭に招待。園児たちが一生懸命に生地を練ったり、具を乗せたりしたピザを振る舞いました。

食事中は会話を楽しく笑い声が広がり、和やかな雰囲気になりました。

各スポーツ少年団の交流会



トレーニングに励む子どもたち

妹背牛町と近隣市町のスポーツ少年団員を対象にした交流会が10月26日、町総合体育館で開かれ、参加した子どもたちがトレーニングに汗を流しました。異なる少年団の交流を目的に開催し、野球やバドミントンなどの各団体から約50人が参加。子どもたちはまず、市街地の清掃活動を行いました。

昼食会の後、女子カーリング「フォルティウス」のトレーナーから体幹を鍛えるトレーニング方法を教わりました。

町政懇談会 町内 11 会場で



町民会館で開かれた町政懇談会の様子

妹背牛町は11月7～13日までの計5日間、町内11地区の各会場で町政懇談会を開き、町民の皆様から貴重なご意見をいただきました。

主な議題は、非常時の電力を地域内で自給できる「マイクログリッド」を福祉施設群に導入することについて。続いて、「防災行政無線システム」などの説明や活発な意見交換も行われました。

質疑応答の詳細は、次号の広報もせうしでお伝えします。

お客様謝恩パーティー 今年も盛況



歌とギターで会場を盛り上げる岩崎さん

妹背牛商工会サービス業部会は10月25日、町民会館で「お客様謝恩パーティー」を開き、深川市内でライブバーを営む岩崎雄一さんのステージを楽しみました。

岩崎さんは深川近郊でライブ活動を行っているほか、作詞作曲も手がけるシンガー・ソングライター。

この日も、温もりのあるギターの音色とともに優しい歌声を響かせ、大勢の来場者を楽しませました。

カーリングホール 落成記念大会



落成記念カーリング大会で、熱戦を繰り広げる選手たち

妹背牛カーリングホールが11月1日から、今季の営業を開始し、シーズン待ちわびた人たちが氷上のリンクで熱戦を繰り広げています。

初日から2日間は、「第23回カーリングホール落成記念カーリング大会」(妹背牛カーリング協会主催)が開催され、町内外の11チームが出場。

選手たちは氷の感触を確かめながら、仲間と戦略を練り、優勝を目指して得点を重ねていました。